

ストップ!
農作業事故

刈り刃との接触防止

人間工学専門家 ● 石川文武

農業機械には、作物を切断するための刃が備えられているものがあります。昭和40年代の末期に農作業事故が増加しましたが、農業関係者に「機械のどの部分に危険を感じますか」というアンケートを行いました。その結果、「刃」が最も怖いという結果となりました。

主な農業機械のうち、刃による事故が多く報告されていたのが、刈り払い機、茶摘み機、バインダー、コンバインでした。安全鑑定では、「刈り刃が容易かつ急速に停止できる構造であること、ただし、作業者が通常は接触する恐れがない場合にはその限りではない」(基準・内規の文章そのままではありません)とされ、安全対策が取られてきました。

刈り払い機では、スロットルレバーを離すことにより緊急停止するようになりましたが、危険を察知して操作をしても瞬時に止まるわけでは

ありません。また、始動時や作業中に自分や第三者を傷つける事故が後を絶ちません。第三者が接近するときの合図励行と、組み作業時の5m以上の安全距離を保つこと、斜面では足場の安全確認が大切になります。なお、飛散物防護カバーは絶対に外してはいけません。

茶摘み機では、携帯型では片手を離すと停止する装置になっていますが、無効化してしまう事例が続いており、作業者の安全意識向上が必要です。可搬型では、補助者側からも緊急停止させるレバーなどが装備されています。バインダーでは、デバイダーと引き起こし装置が防護の役目を果たしていることから、事故が少なくなりました。

コンバインでは、排わらかッタでの負傷事故が多発していました。最近、わら詰まりが生じたときに、自動停止する装置になっていますので、事故の減少が期待できますが、わらの抵抗で作動部が停止しているだけの場合もありますので、取り除くときには、エンジンが停止していることも確認しましょう。

「いちいち止めてはいられない」という考えはやめましょう。一時の油断が損失を招くのです。



農業用燃油タンクご利用の皆様へ

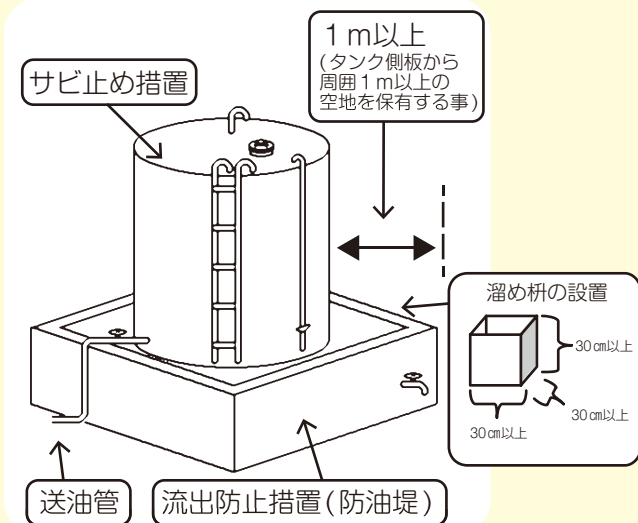
JAやつしろ 営農部・購買部

八代管内で7月に営農用灯油(1,500リットル)が河川に流出する事故が発生し、消防本部より生産者に対し厳しい改善指導が行われました。

また、当JAへも給油責任という立場から厳しい指導を受け改善を余儀なくされております。

このことから以下の基準を満たすように改善をお願いします。

なお、改善がされていない油タンク施設については、給油が出来なくなる場合もありますので、早期の改善をお願い致します。

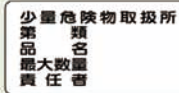


タンク基準 … 消防法で定められている指定数量
(灯油 1,000リットル、A重油 2,000リットル)

- 容 量
 - ① 指定数量の1/5(灯油200リットル、A重油400リットル)以上、指定数量未満の少危タンクについては、火災予防条例による少量危険物貯蔵取扱い届出が必要です。(少危タンクを複数保有する場合は、間隔を1m以上離すことが必要です。)
 - ② 指定数量以上の危険物タンクについては、消防法による許可が必要となり、無許可での貯蔵の場合は、消防法違反となります。
- 固 定
 - アンカーボルト又は、足の埋め込み等で基礎に固定し、台風等で倒れないようする。
- 防 油 堤
 - ① 危険物が浸透しない構造とする。
 - ② 容積は全容量の100%以上とする。
 - ③ 床に適当な斜面をつけ、溜めますを設ける。
- 配 管
 - 鋼製その他の金属管を原則とし、タンク結合部は元バルブ及びフレキシブル管を使用する。(強化プラスチック及び塩化ビニール管は認められません。)

標識・掲示板

- 規 格
 - 「少量危険物貯蔵取扱所」
30cm×60cmの寸法で、白地に黒文字
 - 「火気厳禁」
25cm×50cmの寸法で、赤地に白文字
の標識、掲示板を設ける。



タンク設置等のお問い合わせ先

- 北部農機センター 52-1215
 - 中央農機センター 35-1271
 - 南部農機センター 35-0909
- ※ その他に関するお問合せは、各購買センターまでお願いします。



♥全体運♥ コミュニケーション能力が高まり、誰とでもすんなり親しくなれます。趣味が一致する仲間との交流もラッキー

♥健康運♥ 順調です。アクティブに動き回る好機
♥幸運を呼ぶ食べ物♥ プリ